

The Three Little Elin



R18
* for *
ADULT
(ONLY)

さんびきのこえりーんご



昔々、さんびぎの子エリーンを養っていた
ポポリがいました。

ポポリは潤沢な財力を振りかざし
エリーンたちをはべらせていましたが

うっかり手を出してしまったソシヤゲに
ハマってしまい、いつの間にか
居なくなってしまうました。



養ってくれる人がいなくなってしまうたエリーンたちは
仕方なく独り立ちすることになりました。

しかしエリーンたちは温室育ちの世間知らず。

無事に新たな住処を見つけることができるのでしょうか。

最初のエリーンが街外れの道を歩いていると、ワラの束を持った男に出会いました。



暖かな寝床にちようど良いと思ったエリーンは迷わず声をかけました。

「ねえねえおじさん そのワラをちようだい♪いぶかしげにエリーンを見ていた男でしたがはたと閃いた様子で応えました。

「良いけど…少しだけおじさんのお願いきいてもらえないかな？」

「うん、いいよ♪」



明らかにいかがわしい視線を向ける男でしたが世間知らずのエリーンは二つ返事で快諾してしまうのでした。



エリーちゃんのカラダ
すごく良いにおいするよ
ワラはちゃんとたくさんあげるから
もつといっぱい嗅がせてね♪

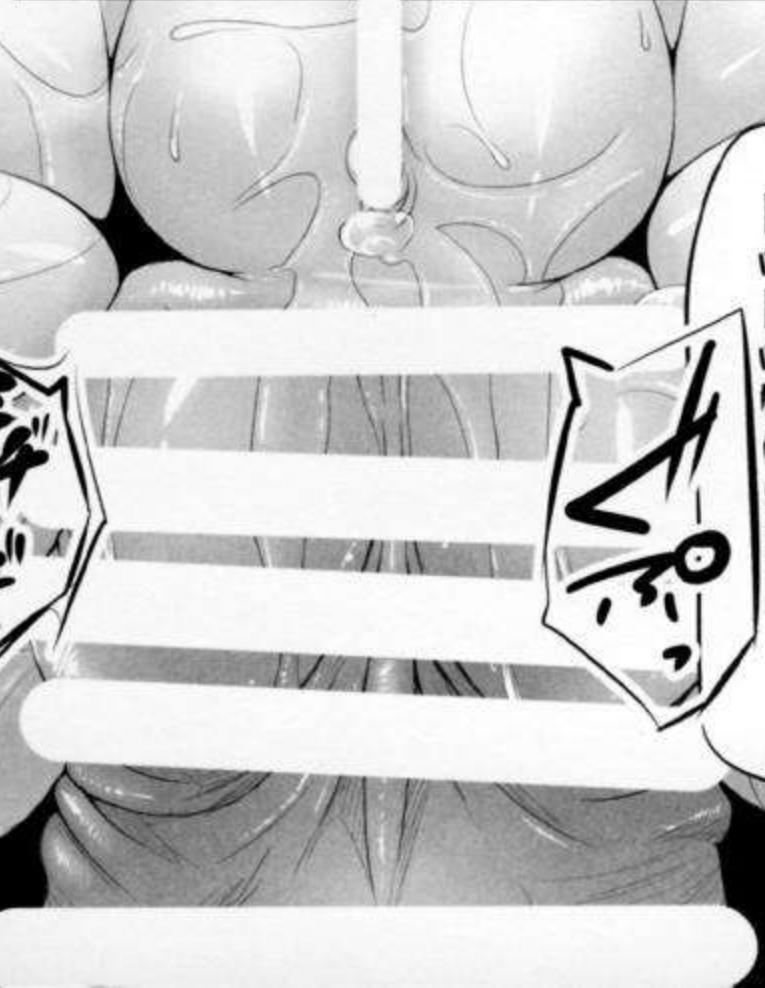
そっ
そこちがうのお…
おまたじゃ…っないのお…

くすぐったいっよお
それに…なにこれえ
お胸のおくがあ…あつい…

それは大変だ！
おじさんが見てあげるから
ぬぎぬぎしようね♪

でもここ
こんなにグツシヨリ
濡れてるよ？
それに…
なんだかしよっぱい
味がするね

あれ…
もしかし
ちがうっ
ちがうもん！
おもらしなんか…
して…ないもん



それは…
それだけはダメなのお

えーそんなあ
おじさんのこんなにな
つちやつてるんだよ?

ねえおねがいエリーンちゃん
ちよとだけ
ちよとだけだからおまんこ
挿入れさせて!

ねえダメ?こんなにお
つきなつちやつてるのに
おまんこダメ?

だ、ダメ
そこちがうところ
なのお…っ!

あっ
じゃあこつちならいいよね?
こつちならいいって事だよね?

大丈夫だいじょうぶ♪
エリーンちゃんのエッチな
お汁とおじさんの我慢汁で
トロトロだから♡

それに
そんなおっきいの…
お尻に入るわけないっ!



だめえ……
お尻のあなっ
ヤケド……しちやう
あーん



あうっ……ん
だめえやだやだ……
あーん

うわっ
ケツまんこ狭っ！

ほーら
ゆっくり入っていつちやうぞー

つすいねエリーちゃん
こんな小さな体で
おじさんのおちんちん
啜えこんじやったね



これならもつと奥まで挿入れても
大丈夫だよな？
おちんちん根元までごっくん
してくれるよ……ねっ！





わりっ……んっ
ここれっ
気持ちよすぎて
止まんねえわっ!

おひり
めくれちや
んおん
んおん

んおん
んおん
やらあそんぞう
うららちやう
んおん

んおん
ダメっ
やだあ……
でちやうう
んおん

うう……
俺も……でちやうう!!

んおん
んおん
んおん
んおん

ほんとに……
でちやうたあ……

おもらしいちやうたあ……



見知らぬ男性に声をかけることに
ほんの少し躊躇しましたが
思い切ったずねてみました。

2番目のエリリンはシダを抱えた
男に出会いました。
午後の読書タイムに最適な庇が
作れると考えたエリリンは、



「すいませんおじさま
そのシダを分けていただけませんか？」
男はエリリンの事を値踏みするように
ゆっくりと視線を巡らせると、
口の端でニヤリと笑いました。
「じゃあ向こうの小屋にもう少しあるから
それも持っていくといいよ」
それを聞いたエリリンは大喜びです。



見ず知らずのエリリンの願いを
快く聞き入れてくれたことに感激した
エリリンは、先ほどの不安も忘れてしまい
嬉しそうに尻尾を振りながら
男の後を歩くのでした。

「本当ですか！
ありがとうございます！」

ふと気がつくとも薄暗い部屋にいました。

なんだか記憶も曖昧で
体も思うように動かさません。



ん……
あれ……「」は……

おっ
やっと気がついたな



やだ……
やめてください……っ!
こないでっ!

ホイホイついて来た
おじよーちゃんが悪いんだぜ?



そんな事言わずにさあ
さあたっぷり愉しもうぜ

そ、そこはあ……
……んはあう



ちが……ますっ
そんなこと……して
……っません!

ははあ
さてはおじよーちゃん
ここ弄るの大好きなんだろ?



おいおい
嘘はよくねえな
じゃなきやこんなに
柔らかいわけないだろ?



当然嫌じゃなきや
罰になんねえから…
なあっ!

やだ…
なにそれ…っ

これは少々
罰が要るみてえだなあ

やめてくださいっ!
お願いです……
そんなの…やだっ



もう…これいじょうはいんにゃ
むりい…くるひ…っ

冷たいのが…はいってえ…っ



ほーら
全部はいつたじゃねえかよ
いい感じの腹になったなあ
ふへへ…
その顔たまんねえわ

らめえ…
で…ぢやう…っ!!

そんな押ししたらあ
あ

そりや大変だ
じゃあ栓をしとかねえとな

ひっ
な…なんですかそれ…

そんな大きいの…
入るわけ…

おめえみたいな
ケツ穴好きの変態には

これくらいがちょうど
いいんだ…
よっ!

うおったまんねえな
このキツ穴！
狭えからみっちり
絡みついてきやがる

…つめくれ…
さけ…ちやう…

ほおら…
裂けたら漏れちまうぞ？

しっかり締めとかねえと
…うなあ…!!

んあが
んあが

ハ
ハ

んあ
んあ

んあ
んあ
んあ

んあ
んあ

んあ
んあ



どうしようかと悩んでいると
二人組みのおじさんに
声をかけられたのでした。

三番目のエリーリンは
自分で家を造るなんてイヤでした。



ナンパでした。



「そうだ
このおじさんたちに
養ってもらおう！」
そう考えたエリーリンは
おじさんを誘惑する事に
しました。

「あのねおじさん
それより…私のお願ひ聞いて
くれたら、もっとイイコト
してあげるんだけどな〜」

エリーリンの誘惑に
抗う術などあるはずもなく
おじさんたちはただただ
首を縦に振り続けたのでした。





ふへへ
大丈夫、わかってるよお

うふふふ
そんなに焦らなくっても
これからいっぱいしてあげるのに
その代わり
ちゃんとお小遣い
ちょうだいね♪



ほーけいおちんちん
かーわい

じゃあまずほ
こっちのおちんちんからね♪



あーん♪
ぱくっ



おお…
エリーちゃんのおまんこ
すげーきれい…

んお…おいしいっ
おいしいっ美味っ!

くはあ

もうこんなに濡れて…
いただきますっ!

…っ！

れい

…っ！

いくらでも…っむほ
出てきてっ
すっごい…んじゅるっ!

あんにん

んか
もう…がつつきすぎ!

ごっごめんよ
でも…もう俺
我慢できないよ…っ!

おいするいぞっ!

だいじょーぶ
ちゃんとな二人とも
気持ちよくしてあげるから

んもう…んふふ
しょうがないなあ

んはあ…ほら

エリーのおまんこで
大人ちんちん
飲み込んだらうよお…

むぎ



んああ
おじぎょ……ん♡
奥までロズンってえ
とどいちゃったあ

うう……
エリーちゃんのおまんこ狭っ！

ほおら……
はいってん……よお

全部は入らないけど
この密着感っ！
たまらないよお……

ほらあ
おじさんは「うち」
エリーちゃんの……
お尻……アナル……ケツマンコ……

わたしのお尻……
おかして

あーん

あーん

あーん

エリンちゃんの
ケツマンコすげいいいっっ！
ちんこちぎれちやいそうだよ！

おまんこもつと奥まで
突いてあげるからねー
一番奥で射精して
あげるからねっ！

さあ射精すよっ
おじさんのザーメン全部
直接子宮に直射精するから
しっかり孕むんだよ！

ケツマンコでも孕んじやおうね！
腸の中精液でパンパンにして
妊娠しちやおうね！

エリンの中ぜんぶ
おじさんたちのザーメンミルクで
いっぱいにしてええええんんん

こうして
三匹の子エリーオンたちは


養ってくれる優しい
おじさんたちに出会い

いつまでも幸せに
暮らしていきましたとさ

めでたしめでたし

ごめんなさいっかりページ数間違えたので前回のらくがき本で気に入った忍者アバターなみつ編みちゃんを犯しておきます





どうもこんにちは、きっちゃんに申します。
ごめんなさいエリンちゃんの本やっで出せました。
お待たせしてしまった方々ほんとすいませんでした。
しかも最後の最後で1ページ足りない大ショックな出来事までorz
毎度の事ではありますがほんと申し訳ない…。
さて次回！
次は褐色！褐色ケモ耳のっ娘！
もちろんお尻満載でお送りいたします！
そんなニツキな内容になるでしょうけども
よかったらまた見てやってください。
ありがとうございました。

* 奥付 *

The Three Little Elin

発行日：2014年12月30日

著者：Kitchen*Channel
きっちゃん

e-mail: chankichi@capriccio.skr.jp

Pixiv ID: 1540899

印刷：プリントマウス様

※この本は成人向けです。18歳未満の方は購入、または閲覧することができません。



-The Three Little Elin-
Presented by Kitchen*Channel
◀This book is for ADULT ONLY!!▶

※18歳未満の方はこの本を購入または閲覧することが出来ません